

<b>東芝電池株式会社 サイトレポート情報</b>
所在地 : 群馬県安中市郷原3000番2
敷地面積 : 23,744m <sup>2</sup> 、建家面積 : 11,596m <sup>2</sup> 、緑化率22.1%
設立 : 1979年4月、従業員 : 18人 (2011年3月現在)
主要製品 : 塩化チオニルリチウム電池 “ウルトラリチウム”
ISO14001 認証取得 : 1998年7月、最新更新年月 : 2010年7月 (ISO 認証番号 : JSAE050)



**ごあいさつ**

東芝電池株式会社は緑豊かな妙義山の麓に位置した立地条件の中で事業を展開しています。当社では、最先端の技術を駆使し、塩化チオニルリチウム電池の製造工場として、お客様のニーズを先取りした電池を製造しています。また、環境保全活動にも従業員一丸となって取り組んでいます。



環境保全責任者 藤原雅司

**2010年度の環境の主な取組み**

- ☆ISO14001環境マネジメントシステム  
1998年7月に認証取得、2010年7月に4回目の更新。
- ☆環境保全体制の充実  
法令、条例の遵守。現場管理の強化。
- ☆CO2排出量の削減  
CO2(エネルギー)排出量を1990年度と比べて、72%削減。
- ☆廃棄物ゼロエミッションの継続  
廃棄物総発生量を、2000年度と比べて、94%削減。最終処分率は、0.39%。
- ☆環境調和型製品の開発  
特定15物質不含実績売上高比率 100%。
- ☆資材取引先に関する環境配慮  
グリーン調達への推進。廃棄物委託先現地確認。
- ☆全員参加・啓発活動の展開  
環境月間・3R推進月間・省エネ月間による環境啓発活動。
- ☆地域との協調  
自治体主催環境美化運動(地域清掃ボランティア 年2回)へ参加。

**製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介**

塩化チオニルリチウム電池“ウルトラリチウム”は、  
 ・CMOS S-RAMバックアップ用途のような長期間の使用に最適です。  
 ・電圧は、3.6Vでリチウム一次電池の中でも最も高く、広範囲な温度環境下(-55℃~+85℃)でご使用いただけます。  
 ・レーザー溶接封口による完全密閉方式の採用と、自己放電が極めて少ないことによって長期間に亘り高信頼性を発揮します。



**環境コミュニケーションの紹介**

- ・自治体主催行事参加:環境美化運動 (地域清掃ボランティア)



6月3日



10月15日

## 環境方針

### 東芝電池株式会社

#### 環境理念

当社は、環境保全への取組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け「かけがえのない地球環境を、健全な状態で次世代に引継いでいくことが、社会の一員としての基本的責務」との、認識に立って行動する。

#### 環境方針

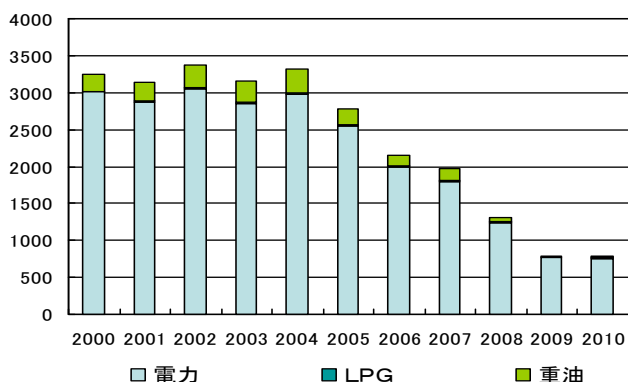
1. 当社は、環境理念に従い、事業活動と製品において生物多様性を含む環境に与える影響を十分に認識し、地球環境と資源の保全に配慮し継続的な改善を図るとともに、環境汚染の予防に取り組む。  
適用範囲は、東芝電池株式会社：群馬県安中市郷原3000番2 における事業活動[塩化チオニルリチウム電池の製造]について適用。輸送については当社が委託する材料及び製品の輸送を適用する。
2. 環境に関連した法規制、および当社が同意するその他の要求事項を遵守する。  
また、技術的・経済的に可能な範囲で管理する。
3. 環境目的及び目標を定めて活動し、環境マネジメントシステムの向上を図る。  
目的及び目標は、定期的に見直す。  
活動の内容は次の通り。
  - 1) 製造から廃棄までを考慮した製品のライフサイクルにおいて、地球環境への負荷の低減につながる製品の提供をする。
  - 2) 環境影響の中の下記2項目に取り組む。
    - ・地球温暖化防止のためエネルギーの削減を図る。
    - ・循環型社会実現のため廃棄物を削減するとともに分別を徹底してリサイクルを図る。
  - 3) 当社の立地や業務等の特性を反映した活動にも積極的に取り組む。
4. 環境方針達成のため、社内広報や教育等により、本方針を当社のために働くすべての人員に周知する。

——この環境方針は、社内外に公開する。——

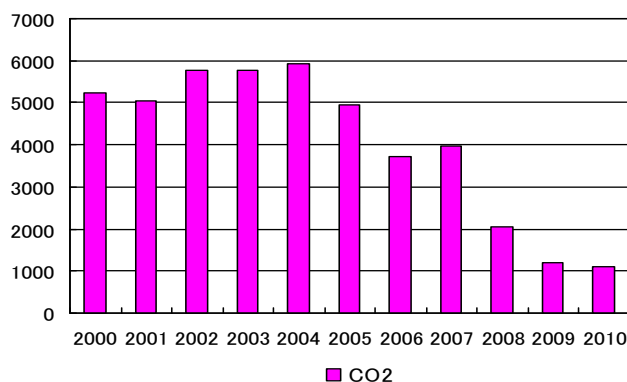
2011年 2月 1日  
東芝電池株式会社  
取締役社長 藤原 雅司

環境負荷データ

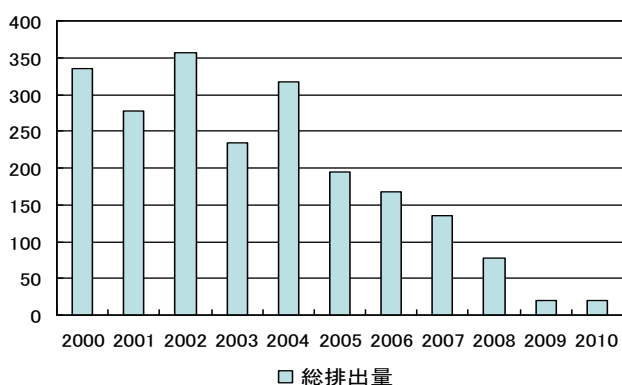
エネルギー使用量(単位:KL)



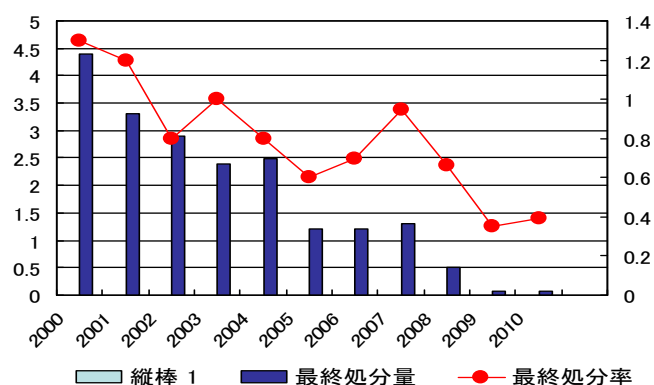
CO<sub>2</sub>排出量(単位:トン-CO<sub>2</sub>)



廃棄物総発生量(単位:トン)

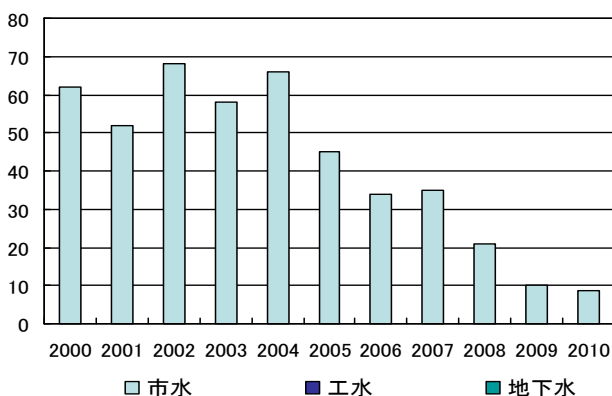


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

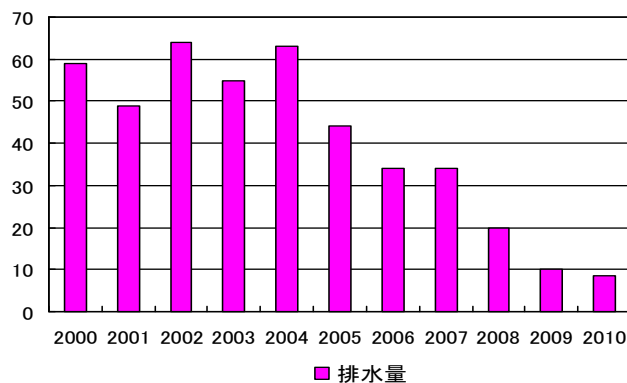


主な廃物名:汚泥、廃油、廃プラ、金属くず等

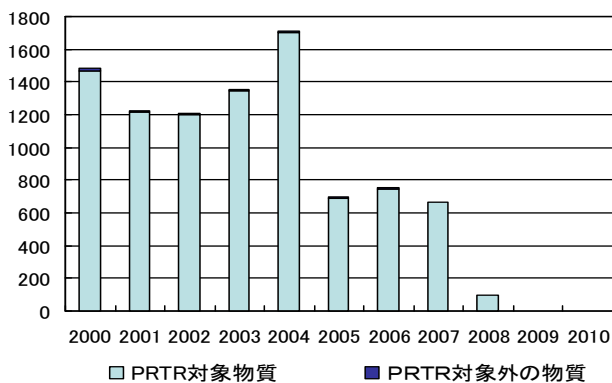
水の使用量(単位:千m<sup>3</sup>)



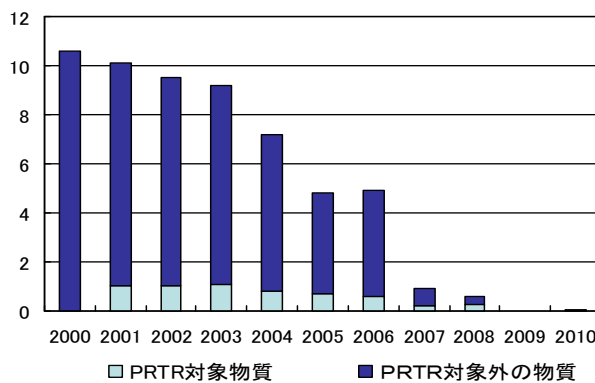
排水量(単位:千m<sup>3</sup>)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質:ニッケル、フタル酸ジエチル等

## 遵法管理状況

### 大気測定結果(小型貫流ボイラー(重油使用) 2台)

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(cm3/m3N)	180	-	78	年2回
SOx(Nm3/h)	0.60(協定値)	協定値	0.01未満	年2回
ばいじん(g/Nm3)	0.3(協定値)	協定値	0.005	年2回

### 排水測定結果(主な測定結果)(一般排水処理施設:河川(碓氷川)へ放流) 重金属排水はクロードシステム)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	6.5~8.5(協定値)	協定値	7.0~8.5	日1回
BOD(mg/ℓ)	15(協定値)	協定値	1未満~4	週1回
SS(mg/ℓ)	15(協定値)	協定値	1未満~15	週1回
水銀(mg/ℓ)	0.005	-	0.0005未満~0.0007	週1回
亜鉛(mg/ℓ)	2	-	0.02~0.48	週1回
フッ素(mg/ℓ)	8(水濁法)	-	0.2未満	月1回

### 騒音・振動測定結果

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	70(協定値)	協定値	58	年1回
	敷地境界:夜	55(協定値)	協定値	47	年1回
振動(dB)	敷地境界:昼	70(協定値)	協定値	30未満	年1回
	敷地境界:夜	65(協定値)	協定値	30未満	年1回

### <その他測定結果> (下水道法:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	対象外	対象外	対象外
BOD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外

### <環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし